

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート																
事務事業名		環境美化パートナーシップ事業						予算事業名		環境美化パートナーシップ事業費										
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令												
			02	01	13	1102	経常経費													
総合計画体系	5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)							事業の区分	主要事業											
	5-1市民・企業・行政がともに支えあう体制づくり (市民参加・広								市民活動支援センター											
	①協働のまちづくりの推進							担当課係等					協働推進係							
	1市民参加の体制強化																			
事業期間		継続 (年度～令和 4年度)																		
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】													
環境美化活動を通して協働のまちづくり及び地域コミュニティの活性化を図る。また、身近な公共空間の環境美化に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民団体や企業などとの協働による「きれいなまち」を実現する。							清掃・除草費の予算削減により、道路沿いなどの環境が悪化しており、環境の改善が求められたこと。また、コミュニティの活性化も踏まえ、市民や企業の環境美化意識の高揚を図ることが求められたため。													
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】													
市民団体や市内に所在する企業などが市との合意により、道路や緑地等公共的な場所の清掃・除草作業を行い、市はその活動に対し必要な支援を行う。 ・市民団体などへの活動支援 (物品等の貸与・支給、保険加入など) ・参加者の募集広報及び事業の啓発活動 ・活動に対する感謝状の贈呈及び表彰の推薦							市内に居住しているか、通学または通勤する個人で構成される団体や市内に所在する企業、法人、その他団体を対象とする。													
							【事業をとりまく環境の変化】													
							環境美化に対する意識も浸透してきており、少しずつではあるが活動に取り組む団体、企業が増えてきており、個人での相談などもある。しかし、地域や団体、企業によって環境美化への意識の差があり、更なる広報及び支援の充実を図っていく。													
【令和 2年度 事業内容】							【令和 3年度 事業内容】							【令和 4年度 事業内容】						
市民団体などへの活動支援 参加者の募集広報及び事業の啓発活動							市民団体などへの活動支援 参加者の募集広報及び事業の啓発活動							市民団体などへの活動支援 参加者の募集広報及び事業の啓発活動						

		H30年度	R01年度			
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他の	0	0			
	一般財源	172	326			
歳入計（千円）		172	326			
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	08 報償費	2	18			
	11 需用費	124	134			
	12 役務費	30	80			
	13 委託料	0	31			
	16 原材料費	16	63			
歳出計（千円）（A）		172	326			
伸び率（％）			89.53			
総合計画133ページ 予算書49ページ						
備考						

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	広報・掲示板等への掲載	回	目標	7.00	7.00	7.00
			実績	6.00	0.00	0.00
	物品等の貸与・支給	回	目標	70.00	70.00	70.00
			実績	45.00	0.00	0.00
成果 指標	活動合意団体	団体	目標	39.00	40.00	40.00
			実績	39.00	0.00	0.00
	参加延べ人数	人	目標	1,280.00	1,300.00	1,300.00
			実績	1,481.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	行政が常に全ての公共施設等を管理することは難しく、地域の環境美化を推進するため必要な事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	公共施設（道路・公園等）に係る美化活動を支援する事業であり、行政の関わりは妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	市民団体や企業等と市が協働の手法により取り組んでいる。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	活動に係る物品支給及び保険加入等の費用は要するが、活動団体は自主的に取り組んでおり、ごみの搬入についても多くの団体が自ら行っている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民、市内に通勤・通学する個人により構成された団体及び市内の企業等と、市が合意を締結し支援している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	環境美化に関する意識が高まっており、合意団体も年々増加している。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	環境美化に関する意識が高まっており、合意団体も年々増加している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
市と合意締結し活動している団体のほか、独自に活動を行っている地域や団体及び企業もある。また、市内高校生が環境美化活動を行いたいと自主的に相談来庁し、新しく合意団体として活動を行うなど、市民や地域の理解や意識は確実に高まっている。事業の課題としては、意識に温度差が見られ、取り組みが盛んなところとそうでないところがある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
今年も継続して、広報やホームページに合意団体等の活動の様子を掲載し、環境美化に対する市民のボランティア意識の高揚を図る。平成26年度から長年環境美化に取り組む団体を顕彰している。今後も合意団体の活動状況を確認しながら、取り組みの活発な団体を表彰する。現在の支援内容のほか、効果的な支援方法について検討する。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	